



子どもの頃に抱いた 「憧れ」 を継承していききたい



にかほ市に伝わる多くの伝承芸能。現在、市内の若者達が保存会内に広報チームを立ち上げたり、SNSで情報発信する等精力的に伝承芸能の「継承」に向けた活動をしています。

新春号ミニ特集第4弾は、釜ヶ台番楽保存会に所属する佐藤溪輔さんと鳥海山小滝舞楽保存会に所属する佐藤公さんに近況を交えながら市に伝わる芸能をどう盛り上げ、どう継承していくのか、「伝承芸能」について語っていただきました。

■二人の現在の活動

溪 釜ヶ台番楽保存会に所属し定期的に番楽の公演を行うほか、5年前から保存会内に「広報チーム」を立ち上げ、各種SNSで番楽を広くPRしています。

公 鳥海山小滝舞楽保存会に所属し地域の祭りや県内各地で開催される芸能祭等で公演を行っています。また市内小学校や仁賀保高校などで指導や発表をしています。

伝承芸能活動を始めたきっかけ

公 私たちの集落は、基本的に大人にならないと番楽舞には関わることができず、子どもの時から舞うことができるチョウクライロ舞も、昔は長男しかできないというしきたりがありました。次男として舞うことができない分憧れはとてもあり、舞の真似をして遊んでいました。その憧れがきっかけで、大人になつてからは自然に活動に関わるようになりました。

コロナ禍における最近の活動状況

溪 現在の保存会の活動状況としては、やはりコロナ禍の影響が大きいですね。2019年頃は広報チームでPRした結果、公演のオフアームも多くありましたが、コロナ禍になった途端ぱったりと無くなって、集落内の公演すら中止になりました。で

を紹介する動画を作ってもらったなど新しい試みもしています。

公 こちらはコロナ禍になってから、神事で神社内や会館で舞う以外は、他の地域の方向けの公演はできていないのが現状です。ただ5つの舞楽のうち「アマノハギ」は厄払いを目的としているので、それに関してはコロナ対策として各家の中に入らず、玄関先で行いました。また新たな試みとして厄払いの目的でアマノハギの御札を作って配布を始めました。人数を少なくしてできそうなことは行っていますが、人を集めて広く公演というのはできておらず、今は特に子どもたちが見る機会が少なくなっているの、それは残念です。

伝承芸能活動が抱える課題

公 現実問題として人手を確保するのが大変です。特に笛や太鼓ができる楽人は限られていますし、楽人がいないと舞楽はできませんから。舞も楽器もできるオールラウンドプレイヤーが欲しいですね。

溪 そのためには、やはり子どもたちへの継承が重要だと思います。今は子どもの興味が多様化しています。その選択肢の中に番楽が入ってきていない、その選択肢の中に入れない。その

ためには楽しい、憧れという気持ち持が大事で、子どもたちにそういう気持ちを持ってもらいたいから活動をしています。また他の地域の方たちはどうPRしていくか。他の地域で公演すると番楽は神聖で、真面目に見なければという空気を強く感じます。そうではなく地域と溶け込んで、わいわい楽しく見てもいいものなのだというのを、他の地域の方にどう伝えていくか。例えばSNSで番楽を見るコツを発信してみるのもいいかもしれません。

今後の展望

溪 他の地域の方にもっと見てもらうため、例えば保存会の流れを全部体験できるように宿泊付き体験ツアー、それも各保存会同士が連携し市内各地域のそれぞれの番楽を一日ずつ体験できるようなツアーなどを企画していけたら楽しそうです。また先ほども言ったように人手不足も共通の課題なので、他の地域で興味を持ってくれた方が番楽に参加してくれたら、それこそ各保存会同士で互いの番楽を覚えるという形で継承していくのも私はウェルカムです。

公 いい考えだと思います。実は以前番楽の笛をやってみたく

も番楽の目的は悪疫退散。対策をすればできるだろうということとで、保存会内での話し合いの末2021年から少しずつ公演の回数を増やしています。2022年は集落での盆の公演をフルでできたほか、道の駅「ねむの丘」での野外レストランや、JR東日本が販売したツアー「リゾートNIKAHO」などで他の地域の方向けの公演もできました。その他にも（一社）

Rondに依頼して番楽

と言う女性からの相談がありました。でも現状番楽は女人禁制。しがらみを破って他の地域の方や女性でも番楽に携われるようにするのでもいいと思

います。あと他の地域の方だけではなく、地元の方にももっと見てもらいたいですし、遊びに来てほしいです。

溪 展望と言えば海外公演もやってみたいですね。海外の方に来てもらいたいですし、本当にしがらみを破ってもっと活発にやっていきたいですね。どんな形であれ番楽は残ってもらいたいと思っています。

メッセージ

公 地元にはいいものがあると、にかほ市の人が地元を誇りに思えるように文化を継承していきたいです。

溪 文化に関わるということは歴史を作ること。現代の人の知



鳥海山小滝舞楽保存会
Instagram



釜ヶ台番楽保存会
Instagram